


横浜市末吉地区センター 指定管理者事業計画書			
申込年月日 令和3年6月29日			
団体名	とくていひえいりかつどうほうじん つるみくみんちいきかつどうきょうかい 特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会		
代表者名	つちだ かずお (理事長) 土田 和男	設立年月日	平成17年8月22日
団体所在地	横浜市鶴見区鶴見中央三丁目2番1号 横浜鶴見共同ビル207		
電話番号	045 (633) 8409	FAX 番号	045 (633) 8594
沿革 ・ 設立の経緯	平成7年4月	鶴見区自治連合会が中心となり、任意団体の「鶴見区民利用施設協会」を設立。平成17年までに管理委託12施設(末吉ほか5地区センター、上寺尾小ほか5コミュニティハウス、こどもログハウス、鶴見中央集会所)を運営	
	平成17年8月	17地区連合会長が発起人となり、特定非営利活動法人「鶴見区民地域活動協会」を設立	
	平成18年4月	指定管理7施設(5地区センター、1コミュニティハウス、鶴見中央集会所)、管理委託4施設(コミュニティハウス)を運営	
	平成23年4月	指定管理4施設(2地区センター、2コミュニティハウス)、管理委託4施設(コミュニティハウス)を運営	
	平成28年4月 ～現在	指定管理8施設(5地区センター、2コミュニティハウス、こどもログハウス)、管理委託4施設(コミュニティハウス)を運営 ※運営施設名は1ページに記載	
業務内容	<p>当法人は、鶴見区自治連合会が「市民利用施設等の管理運営に関する事業を行い、また、行政との協働事業を通じて、地域交流、まちづくり等の支援を行い、不特定多数の市民を対象に公益の増進に寄与すること」を目的に設立したNPO法人であり、その強みと特徴を活かして、以下の業務を行っています。</p> <p>1. 市民利用施設の運営管理 …地域活動・交流拠点の運営管理</p> <p>2. 地域交流支援 …地域のネットワーク力を活かした活動や交流を促進する事業展開</p> <p>3. まちづくり等の支援 …行政、自治連合会、地域団体等と協働して「地域力の強化」「区内経済・活力の向上」「子どもから大人まで安心・元気に」を目指すまちづくりを支援</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
担当者 連絡先	氏名	所 属	事務局
	電 話	F A X	045 (633) 8594
	E-mail		

(1) 応募団体に関すること

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
- イ 応募団体の業務における本施設の指定管理業務の位置づけ
- ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

自治連合会が設立した地元NPO法人として、地域密着型の組織運営と地域のネットワーク力を活かした事業展開・交流促進を通じて「みんなとつながるまちづくり」を進めます。

◇ 地域に信頼される市民利用施設の管理運営

安全性、利便性、快適性 の確保
挨拶、笑顔、傾聴 を基礎とする、利用者への対応
施設の老朽化への対応

◇ 地域交流・まちづくりへの支援

主要施設に、担当理事（連合自治会長）を配置
自治会、地域団体との連携を強化し、地域との協働事業を展開

◇ 時代の変化への対応

インターネット予約の導入、Twitter・Facebook による情報発信、
Wi-Fi 環境の整備、増加する高齢者、外国人、小中学生への対応

◇ 行政との協働事業の展開

施設の計画改修・修繕、災害時対応、新型コロナ対策、鶴見3大祭りへの支援など



地区Ce圏域図(約1km)

イ 応募団体の業務における本施設の指定管理業務の位置づけ

鶴見区の市民利用施設の管理運営と地域交流・まちづくり支援を目的とする当法人にとって、末吉地区の拠点として欠くことのできない施設であり、当法人が運営する地区センター5館のネットワークの一翼を担っています。

末吉大通りを中心とした歴史や文化が豊かなまちの「地域住民の自主的活動、相互交流の場」

- ◇ 上末吉・下末吉地区に密着した地域活動拠点
- ◇ 駒岡地域ケアプラザと連携した事業の展開
- ◇ しらゆり保育園や地域作業所「鶴っ子」の先品展示や販売など盛んな地域活動との連携

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

鶴見区の市民利用施設の管理運営に十分な経験と実績があります。

施設名	所在地	開始年月	業務区分	施設名	所在地	開始年月	業務区分
潮田地区センター	鶴見区本町通	平成7年3月	指定管理	鶴見中央コミハ	鶴見区鶴見中央	平成22年12月	指定管理
矢向地区センター	〃 矢向	平成8年10月	〃	白幡公園ログ	〃 東寺尾	平成28年4月	指定管理
生麦地区センター	〃 生麦	平成28年4月	〃	上寺尾小コミハ	〃 馬場	平成7年3月	業務委託
末吉地区センター	〃 上末吉	平成28年4月	〃	新鶴見小コミハ	〃 江ヶ崎	平成7年4月	〃
寺尾・鶴寿荘	〃 馬場	平成28年4月	〃	市場小コミハ	〃 元宮	平成7年4月	〃
潮田公園コミハ	〃 向井町	平成12年4月	〃	寛政中コミハ	〃 寛政町	平成10年4月	〃

※コミハ：コミュニティハウス、 ログ：こどもログハウス

(2) 末吉地区センターの管理運営業務の基本方針について

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

イ 地域特性、地域ニーズ

ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

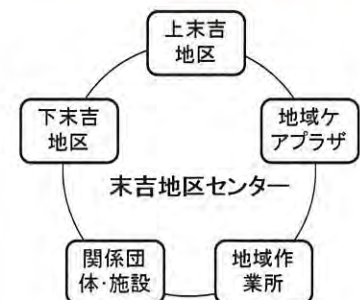
地域住民が自主的に活動し相互の交流を深める場として、また、区政運営の基本目標「いつまでも住み続けたいまち・鶴見」の実現に向けて、区の各施策と連携・協力して管理運営業務を進めます。

- ・上末吉・下末吉地区を中心とした住民の自主的な文化活動やまちづくりの拠点としての役割を積極的に担います。
- ・自治会・町内会が行うイベントに協力し、地域活動の活性化を図ります。
- ・駒岡地域ケアプラザと連携して高齢者サービスを協力、支援します。
- ・鶴見区地域作業所「鶴っ子」を支援、作品展示をして販売協力しています。
- ・区の防災施策への協力、多文化共生のまちづくりの推進、鶴見の魅力を知る事業の展開
- ・子育て支援や健康づくりなどの取組の充実、おもてなしの気持ちあふれるサービスの提供

イ 地域特性、地域ニーズ

① 地域特性

- ・末吉地区は鶴見川、三ッ池公園と自然環境に恵まれています。
- ・住宅、工場、マンションなど混在している地域です。
- ・山坂の地域や第2京浜国道の分断もあり、地区センターへの利用が不便な地域でもあります。
- ・少子高齢化が進んでおり、子育て・福祉・健康に対する関心が高い地域です。



地域・施設等との連携

② 地域ニーズ

- ・子育て支援 → 読み聞かせ、リトミック、子育て相談
親子の居場所 → アソビVa (子どもと若者のひろば事業)
- ・高齢者支援事業 → 健康体操・上・下末吉1人暮らし老人給食支援と配食
- ・図書貸出し推進事業 (図書館機能の充実) → 毎月20冊以上の新刊書を購入している。

ウ 公の施設としての管理

公の施設として、横浜市地区センター条例に基づき、次の項目に留意し運営します。

- ① 利用者の人権、利用者目線、公正・透明な利用ルールを第一とします (職員研修の充実)
- ② 利用手続きの公平性や利便性を確保し、事務を効率化します (インターネット予約)
- ③ 業務点検・実態調査・ニーズ分析結果を業務に反映します (アンケート、データ集計等)
- ④ 業務改善・サービス向上に対し継続的に取り組みます (館長会、実務者勉強会)
- ⑤ 運営協議会を強化し、課題解決に努めます (運営委員を多方面から招聘)
- ⑥ 情報の公開と広報・広聴の充実・強化 (ホームページ、掲示板の活用、回覧ちらし)

(3) 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

- ◇法人事務局が各施設をバックアップして契約、経理、労務等の事務を一元管理します。
- ◇施設の職員は、管理運営や利用者対応に専念できる体制になっています
- ◇区内の当法人が管理する施設や自治会町内会など地域団体と連携・協力した運営を行います。

◆職員の構成と雇用の形態

- ・館長 1 名、副館長 1 名、主任 3 名、スタッフ 14 名の計 19 名で構成
- ・館長は管理能力に優れ、幅広い知識と経験を有して、市政に通じ、地域団体等と良好に連携できる人物を配置します。
- ・副館長は、コミュニケーション能力が高く、地域事情にも詳しいベテラン職員で、将来の館長候補となる人物を配置します。
- ・スタッフは勤務経験が豊富な職員から新人職員までバランスをとった勤務配置とします。
- ・地域から「地域アドバイザー」を選出していただき、地域と館との連絡・調整を行います。

職種	人数	雇用形態	勤務時間・日数	業務内容
館長	1	常勤職員	7 時間・週 5 日	管理運営の総括責任者、地域との連絡調整
副館長	1	常勤職員	7 時間・週 5 日	館長代理、庶務経理
主任	3	日給職員	7 時間・月 12～15 日	館長・副館長の補佐、自主事業企画
スタッフ	14	時給職員	4.25 時間・月 15 日	利用の受付、施設管理・整理、用具の貸出、自主事業補助

◆勤務体制

- ・常勤職員または主任が、少なくとも 1 名在館することを基本に、シフトを組んで勤務します。
- ・窓口業務は、会議室・体育館対応に午前、午後、夜間とも 2 名の職員が勤務します。
- ・また、利用者が多い時間帯、自主事業、企画検討会等必要時には複数の勤務者を配置することで臨機応変な運営を行います。
- ・スタッフは、各時間帯事に 2 名勤務。引継ぎができるように 10 分間勤務時間を重ねています。
- ・スタッフは、各時間帯事に 5 人または 4 人登録していて、急なシフト変更にも対応できます。

時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
						開館時間								
常勤・主任(早番)	1~2人	[勤務シフト]												
常勤・主任(遅番)	1~2人	[勤務シフト]												
A スタッフ(午前)	2人	[勤務シフト]												
B スタッフ(午後)	2人	[勤務シフト]												
C スタッフ(夜間)	2人	[勤務シフト]												

◆新規採用

- ・新規スタッフは鶴見区内、特に近隣から公募します。鶴見区内の自治会町内会への回覧、ポスター掲示により周知を図り、地域における活動経験の豊富な人材を採用します。

(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

◆個人情報保護の体制

当法人は、個人情報の適正な取扱について、組織を挙げて取り組むために以下の規程を定め、全職員に対し、毎年度初めの研修及び定例ミーティングにおいて周知徹底を図っています。

- ・「個人情報の保護に関する規程」「個人情報保護方針」(平成29年6月制定)
- ・「特定個人情報(マイナンバー)取扱規程」「特定個人情報についての基本方針」(平成28年1月)

そのうち個人情報保護方針では、利用目的と取扱責任者等を以下のとおり定め、当法人ホームページに公開しています(抜粋)

【利用目的】当法人は、個人情報を以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

個人情報の区分	利用目的
利用者	施設利用手続き(利用申込、自主事業申込、図書利用)及び連絡
自主事業講師	自主事業実施、打合せの連絡
職員	職員の雇用管理、勤怠管理
自治会役員、各種委員会委員	施設の運営に関する依頼、連絡

【取扱責任者】当法人における個人情報の取扱責任者は以下のとおりです。

最高責任者(全体統括)	事務局長	個人情報の取扱について、最終責任を負う。
運用責任者(事務局)	事務局総務担当職員	事務局で取り扱う個人情報の責任者
運用責任者(施設)	施設長	施設で取り扱う個人情報の責任者

◆研修計画

① 研修体制

- ・施設研修(職場研修)、法人研修、横浜市等が実施する研修への派遣の3本立てで実施します。
- ・職員のキャリアアップを想定した階層別研修を実施します。
- ・利用者に気持ちよく利用していただけるよう、接遇マナー、人権尊重を重視します。
- ・災害対応や事故防止、地域連携など重要な課題についても積極的に取り組みます。

区分	主な実施内容
スタッフ	OJTによる習熟度の向上、個人情報保護、事故防止、接遇マナー、人権
主任	OJTによる習熟度の向上、個人情報保護、事故防止、人権、事業企画、新任主任研修
副館長	法人の基本方針、人権、会計経理、衛生推進者、新任副館長研修
館長	法人の財務、労務管理、リスク管理、設備管理、防災計画、区政運営方針、地域まちづくり
課題別	災害対策、新型コロナ対策、ICT活用、地域理解、人権

② 人材育成(キャリア形成とモチベーションの向上)

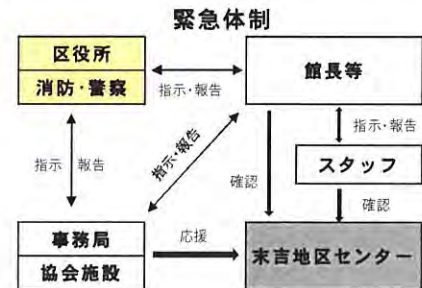
- ・職員全員に意向調査・面談を実施して、他館への異動も含めて人材育成を図ります。
- ・職員の意欲・能力により、スタッフ⇒主任⇒副館長⇒館長と昇任させます。
- ・職員表彰制度 日々の業務に加え、地域活動、自主事業への貢献の高い職員を表彰します。

(3) 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

◇ 横浜市防災計画、鶴見区防災計画に沿った緊急時の体制確立

- ・ 鶴見区と災害時の施設利用協定を締結(平成28年4月)
- ・ 「災害対応マニュアル」を整備(平成29年2月)
- ・ 緊急時館長連絡網の整備(パソコン、携帯メール同時配信)
- ・ 緊急地震速報・気象警報受信FMラジオ、懐中電灯を配備
- ・ 自動販売機は災害ペンダー対応機を設置
- ・ 防災備蓄庫を設置(ミネラルウォーター336本備蓄)



◇ 地域や近隣施設との連携

- ・ 地元防災拠点の運営委員(自治会長、学校長)は、当館の運営協議会委員で日頃から顔の見える関係にあり、「いざ」という時に拠点との連絡や応援協力など臨機に対応できます。

◇ 区内在住職員で構成する緊急体制

- ・ 事務局、館長、副館長等及び主任41名中34名の区内在住者により、夜間・休館時の区内12施設の緊急相互応援体制を確立しています。
- ・ その他スタッフは全員が施設近隣に在住し、館長等の指示により緊急時の施設開錠に対応できる体制となっています。



◇ 危機管理マニュアル

- ・ 火災・台風及び風災害・地震・不審者・事故・盗難等様々な場面に対応しています。
- ・ 緊急連絡網(法人事務局・施設職員・区役所・警察・消防)を定めています。
- ・ 非常時の対応手順を事務所内に掲示しています。
- ・ 新型コロナウイルス対策として利用制限に応じた対応策を決定し利用者・職員に周知



◇ 不審者対策

- ・ 防犯カメラ設置 ⇒ 夜間、施設前の不審者監視
- ・ 青少年補導員による巡回 ⇒ 立ち寄り時に情報提供しています
- ・ 地域警察官による巡回 ⇒ 必要に応じ立寄り
- ・ 小・中学校生徒指導教諭と情報交換・連絡をしています。



◇ 事故防止策

- ・ 火の元、水回り、電気停止、戸締り確認
⇒ 業務日誌、チェックリスト表にて毎日確認しています。
- ・ 事故等の発生事例、ヒヤリハット事例の共有
⇒ 館長会、館の定例ミーティングにおいて共有と注意喚起を行っています。



◇ 施設及び設備の故障等防止についてはP11(6)に記載

(4) 施設の運営計画

ア 設置理念を実現する運営内容

イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

横浜市の地区センターは、地域住民が自主的に活動し相互の交流を深める場として設置されました。平成 28 年 4 月、前指定管理者から引継ぎを受けました。当法人は、これまで積み重ねてきた実績や成果を土台に、引き続き地域コミュニティの醸成、地域の連携に貢献します。

<上末吉地区・下末吉地区>

- ・ 高齢者給食会・一人暮らし高齢者支援と見守り（地区社協、民生委員）
- ・ 配食ボランティア・一人暮らし高齢者支援（末吉ランチつむぎの会）
- ・ 健康促進・ポッチャ（保活推進委員）
- ・ 末吉神社祭礼（上末吉地区）愛宕神社祭礼（下末吉地区）
- ・ 敬老会、運動会（上・下末吉地区）

高齢者給食
（一人暮らし支援）



<地域ケアプラザ・地域団体の共催事業>

- ・ 子どもと若者の広場・パソコンボランティア相談室・おもちゃの病院
- ・ いきいき講座
- ・ 障害者作業所（鶴っ子）の作品展示・物品販売

鶴っ子の展示



イ 利用促進策

<利用状況の分析>

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により開館日数が大幅に減少（前年比▲58 日）、加えて、施設の利用制限（3 密回避）や地域住民の外出自粛、利用控えも影響しました。

- ① 団体利用に関しては、少人数（家族連れ）での体育室の増加がありました。
- ② 当日利用や 1 時間延長利用など積極的に対応しました。

今後コロナが収束しても、生活・行動様式の変化に伴って、これまでの利用者は容易に戻らないことが想定されるので、新利用者の開拓に注力する必要があります。

<次期 5 か年での利用促進策>

- ①施設の広報・PR 強化
 - ・ 広報活動の充実・強化（自治会・町内会との連携の強化）
 - ・ 電子案内板を設置。本日の利用案内、事業や他館情報を常時配信
- ②利用者サービスの向上
 - ・ 会議室、ロビーへの Wi-Fi 環境の整備
 - ・ 図書コーナーの充実（新刊図書 年 200 冊購入）
- ③魅力的な自主事業の展開
 - ・ 法人共通の自主事業を増やし、事業の質を向上
 - ・ コロナ禍のなか、地域支援事業（健康作り体操の拠点作り）
- ④関係機関との連携促進
 - ・ 区社会福祉協議会、地域ケアプラザとの共催事業や「鶴見・あいねっと」への協力
 - ・ 区民活動支援センターとの連携（地域人材の育成、情報共有）

電子案内板
（本日の事業や他館情報を表示）



(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について

◆利用料金設定の基本方針

- ・利用料金設定は横浜市地区センター条例を基準とし、現在の料金設定を継続します。
- ・部屋の稼働率を高め利用料金収入の増加を図る目的で、空室を減らす対策を講じます。

◆利用料金の設定について

- ・利用者アンケート等で2時間の時間設定や利用料金は好評であるため、今後も継続します。
- ・自治会活動など地域の活性化を目的に施設を利用する場合は、明確な減免基準により対応します。
- ・部屋が空いている場合は、1時間単位の追加利用を可能とし、利用料金は半額とします(好評のため継続します)。

区 分		利 用 時 間
午前	I	9:00~11:00
	II	11:00~13:00
午後	I	13:00~15:00
	II	15:00~17:00
夜間	I	17:00~19:00
	II	19:00~21:00

部屋	利用料金
小会議室	280 円/2 時間
中会議室	560 円/2 時間
ミーティングルーム	360 円/2 時間
料理室	540 円/2 時間
和室	680 円/2 時間
体育室A面 (1/3)	360 円/2 時間
体育室B面 (1/3)	360 円/2 時間
体育室C面 (1/3)	360 円/2 時間
余暇コーナー(工芸室)	420 円/2 時間

◆インターネット予約

- ・これまでの窓口や電話による予約の方法に加え、インターネットを利用した予約サービスを追加しました。
- ・ご自宅のパソコンやスマホから予約可能です。
- ・閉館時間帯でも予約/抽選申込が可能です。
- ・申込み用紙を書く手間を省略できます。
- ・抽選申込時に他のエントリー状況が見えるので、日程調整が可能です。
- ・リアルタイムで、空き状況が分かります。
- ・直接来館しないため、コロナウイルスの対応も善処できました。



(4) 施設の運営計画

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

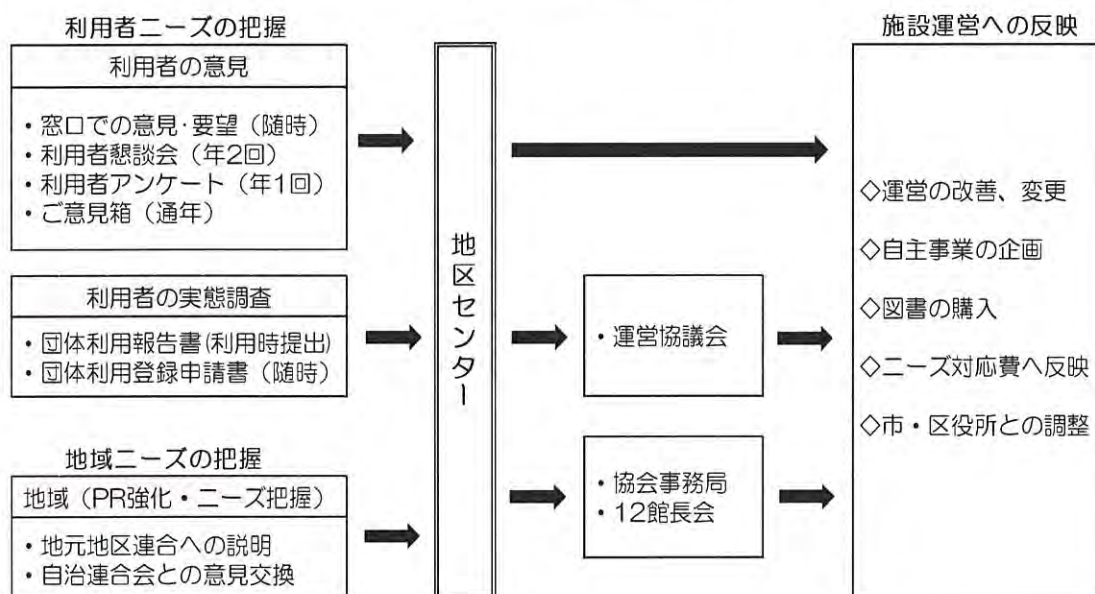
オ 利用者サービス向上の取組

カ ニーズ対応費の使途について

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

日々の利用者だけでなく、地域への PR 強化及びニーズ把握に努めます。また、運営協議会を通して様々なジャンルの方々のご意見を取り入れ、課題の解決、利用の拡大・促進につなげます。さらに、法人 12 施設の館長会で情報共有し、各施設の運営改善等にも結びつけます。

(図) 利用者ニーズの把握と運営への反映



オ 利用者サービス向上の取組

開館当初から現在までに把握した利用者ニーズを反映した取組と、新規利用者開拓や新たな取組について、以下のように実施しました。今後とも、改善していきます。

- ① インターネット予約の導入、予約方式の変更（応当日 ⇒ 応当月）(P7 に掲載)
- ② 空き室申込の予約コマ数の制限撤廃
- ③ ロビー、会議室への Wi-Fi の導入
- ④ 自主事業のインターネット申込、スマホ決済の検討
- ⑤ 新刊図書の年間 200 冊以上購入を継続。新刊コーナーを設け、借りやすいよう工夫
- ⑥ 図書コーナーの古い本を整理。絵本、児童書、大人本や歴史本など分かりやすく配架

カ ニーズ対応費の使途について

利用者サービスの向上につながることを目的に、効果的な予算執行を行います。

・令和 2 年度、本日の予約状況、事業案内、他館情報をモニター画面で表示できる電子案内板を導入しました。

・令和元年度より、毎年卓球台を 1 台購入（合計 5 台購入）します。利用者からの要望に応じていきます。

・毎月新刊図書 200 冊以上及び NHK テキストを、好評につき継続購入します。

(4) 施設の運営計画
キ 本市重要施策に対する取組

◆情報公開

- ①指定管理業務にかかわる情報は、区及び当法人のホームページに公開しています。
- ②ホームページで施設の利用方法や自主事業の案内などを掲載し、利用者アンケート結果及び回答は館内に掲示しています。

◆人権尊重

施設運営の根幹である人権尊重については、引き続き、館長、主任、スタッフなどすべての職員に研修を実施するほか、様々な機会をとらえて啓発に努めます。

◆障害者福祉政策

- ①障害者団体の優先・減免適用や利用しやすい施設環境の整備
- ②地域作業所「鶴っ子」の作品展示及び販売の協力をしている。



◆環境への配慮

- ①ヨコハマ3R夢プランに沿って廃棄物の分別・資源化を引き続き徹底
- ②節電（照明のLED化）に心掛けCO₂削減に努めています。

◆市内中小企業優先発注

- ①施設管理点検関係は、区内中小企業に優先して依頼しています。
- ②消耗品の購入は区内中小企業を優先し、備品の購入は市内中小企業を優先しています。

◆男女共同参画政策

- ①職員総数 162 人 女性：83%、男性：17% 内、常勤職員の女性の割合は71%。
- ②当法人が運営する 12 施設中、8 館は女性館長を登用。
- ②男女が性別の区別なく参加できる、自主事業を展開します。

◆多文化共生

- ①多文化共生のまちづくり宣言を踏まえて、多くの外国人が暮らす街として、誰もが利用・参加しやすい施設運営と自主事業の充実に引き続き進めます。
- ②施設における Wi-Fi の提供や Twitter 等による情報発信、国際交流ラウンジ等関係機関と連携した活動支援に積極的に取り組みます。

◆読書活動推進

- ①新刊図書を充実させ、新刊が手軽に借りられる街の小さな図書館づくりを進めます。
- ②図書選定は、全国の公立図書館の状況を考慮し良書を購入します。

◆身近な場所での拠点づくり

地域の活動拠点として、地域の課題や情報の共有を図ります。

- ①地域で支え合う活動の基盤となるサロン
- ②こどもの居場所づくりの支援（親子の居場所づくり・アソ Viva in 末吉）
- ③青少年地域活動拠点

◆自治会・町内会、地域活動団体の支援

- ①「地域協働事業」の推進（秋祭り、地域歴史講座、歌声喫茶）
- ②地域活動の支援（地域の祭礼、敬老会、運動会）

(5) 自主事業計画

◆基本的な考え

末吉地区の地域特性や年齢構成を反映させ、地域に密着した事業内容で、地域住民が参加しやすい自主事業を企画し実施しています。また、サークル化の継続が難しい事業に関しては、自主事業の講座回数を増やし、地域住民支援事業と位置づけて実施しています。

令和 2 年度はコロナ禍により、人数と回数を減らして開催しました。令和 3 年度からは感染防止策を講じながら「利用者への検温と消毒」と徹底して「除菌と間隔を空けた施設利用」「屋外（散策など）での開催事業」などを行い、地域や利用者との交流の場を継続、維持していきます。

自主事業の実施状況

	事業数	延べ回数
平成 28 年度	48	235
平成 29 年度	53	189
平成 30 年度	62	194
令和 元年度	58	238
令和 2 年度	11	131

◆法人の特色を生かした自主事業

各館のノウハウと法人のネットワークを活用し「合同で募集」「持ち回りで開催」を行うことで事業を効率よく開催しています。自主事業担当者会議を開催し情報交換を行います。

『TURUMI キッズダンス・フェスタ』

横浜市が勧める文化芸術創造都市の実現に向けて、3年に1度開催される「ダンス」「音楽」「現代アート」の祭典にパートナー事業として参加します。
★サルビアホール共催事業



『ハンドメイドタイム』年 12 回開催

毎月第 3 日曜日で 2 名の講師による、体験型講座を開催。講師は地域の方を募集し、地域との協働と活性化に繋がります。
合言葉：「第 3 日曜日は地区センターへ行って楽しもう！」
★ワークショップ祭を開催する



◆各種カテゴリーをカバーした企画

- ①事業の内容は毎年見直しを図ります。
- ②好評な企画は継続して開催します。
- ③定員に満たない事業は見直し、改善をして新企画に活かします。



子育て支援
「親子リトミック」



子ども・青少年の育成
「子どもと若者のひろばアソビVain末吉」



高齢者の健康支援
「毎週講師が違う 緩いストレッチ体操」



地域交流活動支援
新規「フリーマーケット」
町内会の交流とリサイクル



地元保育園との交流
「園児の作品を展示」



伝統と文化
「末吉地域のお祭り」



手工芸体験の継続
「藍染め」



地域企業との協働
「親子木工教室」

(6) 建物の維持管理計画

◆施設の維持管理業務

安全・快適な環境維持及び施設長寿命化の見地から、市役所と連携強化・情報共有を図りながら計画的かつ効果的な保全・更新を進めます。また、小破修繕についても、引き続き積極的に対応してまいります。

建築物保守管理・設備機器管理・清掃・保安警備・環境衛生管理

- ・専門業者による点検（電気設備、空調機器、給水施設、水質検査等）、清掃

項目	業務内容	回数	実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
電気機械設備	設備巡視点検	12	毎月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	空調機保守点検及び冷暖房機器保守点検	2	5. 11 月		●						●				
	電気設備点検(受電以上)電気工作物保安管理	12	毎月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
衛生管理	レジオネラ属菌検査	2	7-8 月				●	●							
	飲料水水質検査	1	6 月			●									
	ねずみ・昆虫等防除	2	6. 12 月			●						●			
建物等	消防用設備点検	2	8. 1 月					●					●		
	昇降機点検	12	毎月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	自動ドア点検	3	5. 9. 1 月		●				●				●		
	機械警備点検	12	毎月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
清掃	定期清掃	12	毎月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	日常清掃	283	毎日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

- ・職員による点検

日毎、時間帯毎の点検実施、チェックリストに基づき確認

◆施設の老朽化と積極的な対応

末吉地区センターは、55 年 12 月に開館し 40 年が経過しました。諸設備の老朽化は否めなく、市や区役所との連携を深め、順次更新を進めています。

また、法人で修繕費をとりまとめ大規模な修繕にも対応しています（主な対応例：下表のとおり）

H29 年 11 月	施設内（体育室を除）照明を LED 化	H30 年 12	空調室機械室防火ダンパー更新工事
R1 年 9 月	正面入口内側自動ドアセンサー交換	R2 年 1 月	体育室天井改修及び空調設置工事
R2 年 1 月	体育室天井照明を LED へ交換工事	R2 年 1 月	体育室排煙窓修繕工事
R2 年 3 月	引込ガス遮断バルブ取替修理工事	R3 年 3 月	体育室床補修及び塗装工事

◆効率化の工夫

- ・法人及び施設間で、建物管理や修繕等について情報交換・共有を行いながら、優先順位をつけて効率的・計画的に業務を推進します。
- ・点検チェックリストを作成し、職員・スタッフによる日常点検を時間毎(午前・午後・夜間)にきめ細かく行い、早期発見・早期対応することで修繕費用等を抑止に繋がります。
また、軽易な修繕などスタッフが出来る修繕をすることで経費節減に繋がっています。
- ・清潔で安全な施設利用を積極的に注意喚起し、地域・利用者一体となった維持管理に努めます。

(7) 収支計画 (収入計画)

- ア 収入計画の考え方について
- イ 増収策について

ア 収入計画の考え方について

当法人の予算は、利用者に質の高いサービスを提供し、安全かつ清潔な施設を運営管理することを目的に作成しています。

- ① 利用料金収入を増やすため、部屋の稼働率の向上策（予約方式の充実）を行う。
- ② 自主事業の「集中と選択」を図り、参加者に魅力のある事業を行う。
- ③ 印刷サービス、自動販売機等の、来館者に利用しやすい環境整備を行う。

<利用料金収入計画の設定>

新型コロナウイルスが収束して、令和 4 年度以降、休館や利用制限がないことを前提としますが、一旦離れた利用者がすぐに戻ってくるとは考えにくいいため、3 年目の令和 6 年度にコロナ前の平年（平成 30 度）の水準を、4 年目・5 年目は前年比 1% 増の稼働率を見込み、利用料金収入を設定します。

	H30 年度	R2 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
稼働率	41.5%	32.9%	38%	40%	42%	43%	44%
利用料金収入	2,108 千円	1,408 千円	1,932 千円	2,032 千円	2,133 千円	2,184 千円	2,235 千円

イ 増収策について

① 利用料金収入の増加

- ・ 予約方式の変更（インターネット予約の導入、応当日から応当月へ）により部屋稼働率を上げます。
- ・ 新たな利用サークルを誘致することで、会議室、和室、料理室などの利用を促進します。

② 自主事業収入の確保

- ・ 自主事業の「選択と集中」を図って、参加者に魅力ある事業を提供し、継続利用に繋がるようにします。
- ・ 参加費に自主事業に要する費用（材料費、講師謝金等）を含め、適切な参加費を設定します。

③ 雑収入の増加

- ・ 利用者の要望を踏まえたコピー・印刷機サービス、自動販売機の設定を行い、雑収入の増加を図ります。

以上のことに積極的に取り組み、安定した収入を確保します。

参加者の多い自主事業



コピー・印刷機サービス



(7) 収支計画 (支出計画)

ウ 支出計画の考え方について

ウ 支出計画の考え方について

当法人の「経理規程」に基づき、最小の経費でその目的を達成し、かつその効果を最大限発揮するよう努めます。

また、区内の地区センター・コミュニティハウス 12 施設を管理運営しているスケールメリット、近隣の施設と連携できるメリットを生かし、管理事務の一本化を図ることで経費の削減や執行の効率化を行っていきます。

① 人件費

- ・当法人の給与基準及び就業規則に基づき積算します。
- ・「指定管理者制度における賃金水準スライド」を踏まえ、算定します。
- ・職員は施設の近隣地域からの採用を基本とし、緊急時の対応と通勤手当の削減を図ります。
- ・通常業務以外（行事、イベントなど）に従事する職員は必要最小限とし、ボランティアの活用等を積極的に進めます。
- ・職員は施設の近隣地域からの採用を基本とし、通勤手当の削減を図ります。

② 管理費 A (光熱水費)

- ・利用者サービスの低下を招かない範囲で節減に努めます。
- ・施設の老朽化に伴う設備更新において、省エネルギー効果を踏まえた更新を行います。

③ 管理費 B (清掃・衛生・設備管理)

- ・適切な清掃や専門業者による点検を行い、不具合の早期発見・早期対応に努めます。また、入札や見積合わせによって適正な業者選定と経費節減を進めます。
- ・設備の更新、修繕等は計画的に実施し、10 万円以上の契約に当たっては、経理規程に基づき必ず複数業者から見積書を徴します。

④ 事務費

- ・会議や資料の簡素化、ペーパーレスを一層推進して、事務費の節減や無駄排除を徹底します
- ・消耗品については、法人での一括購入も含め、施設間での情報交換を密に行い、故障等により不要となった機器の消耗品を施設間で融通し合い、経費削減を図ります。

⑤ 事業費

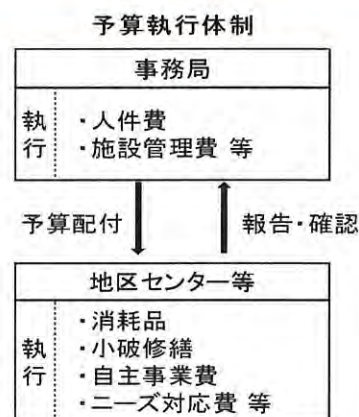
- ・参加者に材料費など適正な負担額を設定して、自主事業費の削減を図ります。

⑥ 適正な執行管理

- ・経理規程に基づき契約や支出手続きを適正に行い、各施設で執行したものについては施設内（館長まで）のチェックに加え、事務局へ報告・確認する体制を取っています。

これまで当法人は、業務改善や職員業務体制見直し等のプロジェクトを組み、利用者サービスの向上、施設の老朽化に対する適切な対応、経費削減のために日々努力を重ねてきました。

今後も、自治連合会との連携を深め、地元の中小企業を積極的に活用するなど、予算執行の面からも地域に信頼される運営を続けてまいります。



(8) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

当法人では、新型コロナウイルス感染症等に関して、国の基本的対処方針、神奈川県対処方針及び横浜市の「市民利用施設等の感染予防・拡大防止に係る基本的対応事項」ほか通知等を遵守し、また、区役所の指導を得て施設の消毒等を徹底してまいりました。

この間、利用者はもとより地域の協力も得て、施設を原因とする感染や施設内での感染拡大は起きていません。引き続き、安全で快適な施設運営のため一層の対策を進めるとともに、当法人の持つネットワークを生かして地域への啓発等に積極的に取り組みます。

◆基本的な考え方

新型コロナウイルスの感染期には、感染拡大防止を最優先とした管理運営を行います。併せて、施設所管課、区福祉保健センター及び地域の皆様と緊密な連携のもとに適切な感染予防策を講じて、地域住民の活動・相互交流の場としての役割と責務を積極的に果たしてまいります。

◆感染防止対策

- ・ 神奈川 LINE コロナお知らせシステムの導入
- ・ 入館時の検温・手指のアルコール消毒の実施。(手指消毒と同時に自動検温してくれる機器を導入した)
- ・ 受付への飛沫防止カーテン設置
- ・ 利用者への感染防止の注意喚起(掲示・団体へのチラシ配布)
- ・ マスクの着用、社会的距離の確保、施設内の消毒、換気の実施
- ・ 横浜市ガイドラインによる会議室、体育室等の利用人数等の制限
- ・ 職員へのスタッフ会議等での感染防止の注意喚起
- ・ 館長会など内部会議のオンライン開催
- ・ 自治会町内会と連携して地域への情報発信

手指消毒と同時に検温
できる機器を設置



スタッフ館内消毒作業



◆自主事業開催の工夫

- ・ 人数を制限して回数を増やすなど開催方法の工夫
- ・ 開催時検温、消毒、換気の実施
- ・ 3つの密を回避するため、会議室、ロビーで実施していた事業の体育室への変更
- ・ オンライン講座、動画配信による開催をしていく。

◆利用料金収入減に対する対応策

- ・ 新規団体開拓による収入減の抑制
- ・ 少人数による体育室や会議室の利用を促進
- ・ 利用者ニーズの低い事業やサービスの廃止、見直しによる支出の削減
- ・ 内部(公的機関を含む)講師や地域人材、ボランティア団体の積極的な活用

◆感染防止を踏まえた予約受付

- ・ インターネット予約システム(導入済)の活用し来館が不要
- ・ 利用料金の支払いは利用活動日に収めていただくよう推奨し、接触頻度を減らす。

横浜市鶴見区末吉地区センター自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
わくわくおはなし ポケット	未就園児と保護者						
	10組						
	100円	48,000	36,000	12,000	48,000	0	0
保育士と遊ぼう	未就園児と保護者						
	10組						
	無料	0	0	0	0	0	0
親子リトミック	未就園児と保護者						
	10組						
	700円	21,000	0	21,000	18,000	0	3,000
パパと遊ぼう リトミック	未就園児と保護者						
	25組						
	800円	15,000	(5,000)	20,000	13,000	0	2,000
心ふくらむ おはなし屋さん	未就園児と保護者						
	10組						
	200円	18,000	12,000	6,000	18,000	0	0
子育て相談 ※区との共催事業	未就学児と保護者						
	各10組						
	無料	0	0	0	0	0	0
未吉育児教室赤ちゃん会 ※区との共催事業	0歳児と保護者						
	各10組						
	無料	0	0	0	0	0	0
土曜オメガ ゆるストレッチ	成人						
	20名						
	300円	313,000	25,000	288,000	288,000	0	25,000
高齢者体操 ※駒岡地域ケアプラザ共催	65歳以上						
	12名						
	無料	0	0	0	0	0	0
うたひろば ※駒岡地域ケアプラザ共催	成人						
	30名						
	100円	35,000	20,000	15,000	30,000	0	5,000
味噌作り ※スタッフが講師	成人						
	12名						
	1500円	18,000	0	18,000	0	18,000	0

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
キムチ作り ※スタッフが講師	成人	18,000	0	18,000	0	17,000	1,000
	12名						
	1500円						
焼菓子づくり	成人	24,000	12,000	12,000	11,000	12,000	1,000
	10名						
	1200円						
ハンドメイドタイム 全12回	どなたでも	192,000	24,000	168,000	72,000	120,000	0
	各20名						
	700円						
健康ストレッチ体操 全16回	成人	132,000	(28,000)	160,000	112,000	0	20,000
	各20名						
	500円						
リボンリース作り	成人	11,000	5,000	6,000	6,000	5,000	0
	10名						
	600円						
藍染め体験	成人	16,000	4,000	12,000	6,000	10,000	0
	10名						
	1200円						
季節の福文字 全4回	成人	64,000	16,000	48,000	24,000	40,000	0
	各10名						
	1200円						
初夏の寄せ植え	成人	24,000	0	24,000	6,000	18,000	0
	15名						
	1600円						
秋の寄せ植え	成人	24,000	0	24,000	6,000	18,000	0
	15名						
	1600円						
クリスマス飾り作り	成人	12,000	5,000	7,000	6,000	6,000	0
	10名						
	700円						
体験ペン習字	成人	21,000	3,000	18,000	6,000	15,000	0
	15名						
	1200円						
お正月飾り ※スタッフが講師	成人	6,000	0	6,000	0	5,000	1,000
	10名						
	600円						
干支飾り作り	成人	11,000	4,000	7,000	6,000	5,000	0
	10名						
	700円						

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
お正月の生花	成人	20,000	5,000	15,000	6,000	14,000	0
	10名						
	1500円						
虫のおじさん	どなたでも	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	自由						
	無料						
子どもと若者のアソViva in末吉	18歳以下	5,000	5,000	0	0	3,000	2,000
	自由						
	無料						
子ども将棋教室 前期10回・後期10回	小学生	27,000	7,000	20,000	22,000	5,000	0
	各10名						
	1000円/期						
ろうそくの火で進む ポンポン船を作ろう	小学生	11,000	6,000	5,000	6,000	5,000	0
	10名						
	500円						
子ども科学捜査研究所	小学生	12,000	6,000	6,000	6,000	6,000	0
	12名						
	500円						
夏休み木工教室 ※地域企業との共催事業	小学生と保護者	23,000	8,000	15,000	10,000	12,000	1,000
	15組						
	1000円						
小学生リトミック	小学生	15,000	0	15,000	12,000	2,000	1,000
	30名						
	500円						
末吉地区センター祭り ※ニーズ対応費	成人	0	0	0	0	0	0
	どなたでも						
	無料						
ワークショップまつり	どなたでも	30,000	30,000	0	0	28,000	2,000
	自由						
	無料						
お琴演奏会	どなたでも	20,000	20,000	0	15,000	2,000	3,000
	自由						
	無料						
新春太鼓	どなたでも	20,000	20,000	0	15,000	2,000	3,000
	自由						
	無料						
すえよし 本の修理屋さん	どなたでも	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	自由						
	無料						

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
おもちゃの病院	どなたでも	15,000	15,000	0	12,000	3,000	0
	自由						
	無料						
すえよし パソコン相談室	18歳以上	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	自由						
	無料						
すえよし美術館	展示サークル	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	40名						
	無料						
防災イベント	どなたでも	20,000	20,000	0	18,000	0	2,000
	自由						
	無料						
ボッチャ体験 ※地域共催事業	どなたでも	10,000	10,000	0	0	5,000	5,000
	30名						
	無料						
横浜芸術アクション事業 パートナー事業 (1回)	小中学生～成人	8,000	0	8,000	6,000	1,000	1,000
	10～20人/施設						
	400円						
まだまだ知りたいわがまち鶴見 鶴見史跡巡りリレー講座 (全12回・1回/施設)	成人	10,000	0	10,000	8,000	1,000	1,000
	全体で60人						
	2,000円/12回						
合計		1,280,000	296,000	984,000	812,000	386,000	82,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市末吉地区センター自主事業別計画書(単表)

◆子育て応援

団体名 特定非営利活動法人鶴見区民地域活動協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わくわく おはなしポケット	目的： ①親子の仲間作りの場を提供する ②親子コミュニケーションのヒントの場 内容： 手遊び・パネルシアターを使用した読み聞かせ	通年 全12回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
保育士と遊ぼう	目的： ①保育士に接することで、心の成長を促し、入園や子育ての不安を軽減する。 ②親子の仲間作りの場を提供する。 内容： しらゆり保育園の保育士がプレイルームを利用し、読み聞かせ、エプロンシアターなどで、兄弟、友達との接し方を教える。 共催： 上末吉しらゆり保育園	6月～3月 全9回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子リトミック	目的： 親子のコミュニケーション支援 内容： リズムに合わせて身体を動かす楽しさを親子で体感	5月・8月・12月 各1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと遊ぼう リトミック	目的： 楽しいリトミック体操をママだけじゃなく、パパと一緒に体験し親子のコミュニケーションをはかる。 内容： リズムに合わせて身体を動かす楽しさを親子で体感 ※父の日企画	6月 全1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
心ふくらむ おはなし屋さん	目的： 語りかけで、親子の想像力を掻き立て、思いやり優しさなどの心の成長を応援 内容： パネルシアターや、手指人形などを使い、親子の心を刺激する読み聞かせ	5月・8月・12月 各1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て相談	目的： 子育ての悩みを相談する。 内容： 専門相談員が相談を受ける。 ※区との共催事業	4～3月 毎週火曜日 ※休館日・祝日を除く
事業名	目的・内容	実施時期・回数
末吉育児教室 赤ちゃん会	目的： 子育ての悩み相談や保護者同士の交流を勧める。 内容： 0歳児対象の育児相談や赤ちゃん体操など。 ※区との共催事業	4～3月 全10回

◆シニア対象

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
土曜オメガゆるストレッチ	<p>目的： シニアの健康維持促進のため、毎週土曜日の朝に身体を楽しく動かす。</p> <p>内容： 講師4名が週ごとに交代で指導。参加するたびに違う講師と内容で、飽きない体操。講師も参加者も無理なく参加が可能。</p>	毎週土曜 全48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者体操	<p>目的： シニアの健康維持促進のため、体操の習慣化を促す。</p> <p>内容： 高齢者の体力に沿った無理のない体操をする。 ※駒岡地域ケアプラザ共催事業</p>	10・11月 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたひろば	<p>目的： 大好きな歌でストレス発散と仲間づくり</p> <p>内容： 奏者による選曲で、唱歌を中心とした歌を気持ちよく歌う。 ※駒岡地域ケアプラザ共催事業</p>	5・7・11・1・3月 全5回

◆お料理

事業名	目的・内容	実施時期・回数
味噌作り	<p>目的： 手作り味噌の良さと魅力に触れ、より美味しい味噌を作る。</p> <p>内容： 手作り味噌を持ち帰り、味噌の熟成工程と味、風味を年間を通して楽しむ。</p> <p>※講師は地区センタースタッフがとめる。</p>	2月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キムチ作り	<p>目的： 本場韓国に負けない美味しい手作りキムチを楽しむ。</p> <p>内容： 材料を切って、揉みこむことで簡単に楽しく作れるキムチを自分好みで辛さ調整し、味わう。</p> <p>※講師は地区センタースタッフがとめる。</p>	2月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
焼き菓子作り	<p>目的： おいしくてヘルシーな焼き菓子の作り方を教わり、健康的な食生活をめざす。</p> <p>内容： 添加物の入っていないヘルシーなお菓子の作り方を学ぶ</p>	6月・2月 全2回

◆一般

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハンドメイドタイム	目的： いろいろな手工芸を体験して、趣味の幅を広げる。地域で活動している講師の活動と交流の場を作る。 内容： 毎回講師より手工芸を教わる。 ※講師は地域から募集し、講師育成も目的とする。	毎月1回 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康ストレッチ体操	目的： 体操することで体調を整え、コロナ感染に対する免疫力の向上をはかる。 内容： ヨガの動きをはじめとするストレッチ体操をする。	5・6・7・8・9月 全16回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リボンリース作り	目的： 手軽な装飾のインテリアを作り、住空間に彩をそえる。 内容： リボンでリースを作る。	7月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藍染め体験	目的： 染める再利用により愛着作品を作り、エコにつながる気持ちを育む。 内容： 藍染めの体験講座。手持ちの品を染めてもらい唯一無二の大切な一品を持ち帰っていただく。	1月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
季節の福文字	目的： 福文字を描くことで季節の移り変わりを体感する。 内容： 季節の行事等のイラストとあわせて福文字を描く。	4・7・10・12月 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初夏の寄せ植え	目的： 花の寄せ植えで季節感を楽しむ。 内容： 初夏の花苗を雰囲気のある鉢に植え、季節感を演出し花を育てる楽しみに触れる。	7月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋の寄せ植え	目的： 花の寄せ植えで季節感を楽しむ。 内容： 秋の花苗を雰囲気のある鉢に植え、季節感を演出し花を育てる楽しみに触れる。	11月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス飾り作り	目的： クリスマス演出のアイデアを提供する。 内容： クリスマスを彩る飾りを作る。	11月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体験 ペン習字	目的： ペン字の書き方を体験して、興味を持ってもらう。 内容： ペン字の書き方の基本を教わりながら体験する。	10月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お正月飾り	目的： 毎年用意する玄関飾り、気分を変えて手作りで忙しい年末年始を楽しんでいただく。 内容： お正月らしい花材などを用意し、オリジナルの作品を作る。 ※講師は地区センタースタッフがとめる。	12月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
干支飾り作り	目的： 干支の飾りを手作りして新年を祝う。 内容： ちりめんの布で干支を作る。	12月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お正月の生花	目的： お正月を寿ぐ演出の一つとして、玄関飾りや床の間飾りに使えるフラワーアレンジメント作り。 内容： 松や南天、菊などでお正月らしいフラワーアレンジメントを教わる。	12月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
虫のおじさん	目的： 手先の器用なおじさんの技と作品をにより、作成意欲や、好奇心、感動などの刺激を与える。 内容： 標本？と思えるほどの虫の工作物を仕上げる講師を迎え、ロビーの一角で自由に制作して頂き、興味を持った方に説明等をしていただく。	毎月1回 全12回

◆小学生以上

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもと若者のアソViVain末吉	目的： 地域の子供たちに遊び場と、様々な遊びを提供する。 内容： けん玉・工作・折り紙・等々自由に自分でやってみたい事を楽しむ。 共催： つるみ子育て・子育てフォーラム共催	通年 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども将棋教室	目的： 将棋を楽しく習得し、集中力と礼儀を養う。 内容： 礼に始まり礼に終わる将棋教室。初心者でも参加できる。	4月～3月 全20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ろうそくの火で進むポンポン船を作ろう	目的： 火の力で進む動力の不思議を学ぶ。 内容： 崖の上のポニョも乗った、ろうそくの火で進むポンポン船を製作する。 共催： つるみおもちゃドクターズ共催	8月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども科学捜査研究所	目的： 科学的な視点で捜査を体験し興味を深める。 内容： 無線機・手錠の重さなどいろいろな体験をする。	7月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み木工教室	目的： 木工工作の楽しさ、面白さを体験する。 内容： 本職の大工さんに木工工作を教わる。	8月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生リトミック	目的： 音楽に合わせて体を動かしリズム感を養う。 内容： リズムに合わせて身体を動かす楽しさを体験する。	6月 全1回

◆イベント

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
末吉地区 センター祭り	<p>目的： 日頃の感謝を込めて、多くの方楽しんでいただき、各サークル活動を広く知っていただく。</p> <p>内容： 音楽団体などの発表や、サークル作品の展示、体験などを実施。地域の方のフリーマーケットも開催。</p> <p>* 地域関係者（青少年指導員など）と近隣企業が協力参加</p>	10月第4土日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ワークショップ まつり	<p>目的： 複数のワークショップが集まり一度の開催することで、地域活性化、地元講師の育成を図る。</p> <p>内容： ワークショップ出店希望を募り、体育室で一斉に開店し、来場者に自由に体験して頂き、人気の内容や参加年代などを調査する。</p>	11月・全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お琴演奏会	<p>目的： 日本古来の楽器であるお琴の素晴らしい音色を皆さんに聞いていただく。</p> <p>内容： ロビーにて時期にあった曲を演奏して利用者に向けていただく。</p>	9・3月 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新春太鼓	<p>目的： 新年の幕開けにふさわしい音色を届けて元気と希望をもって1年を過ごしていただく。</p> <p>内容： 新春にちなんだ曲目を選んで皆さんに聞いていただく。</p>	1月 全1回

◆他団体協力共催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
すえよし 本の修理屋さん	目的： 本を修理することによりお気に入りの本を再び読むことができる。物の大切さに触れる。 内容： 依頼のあった傷んだ本を預かり、舞鶴さんに修理していただく。 協力： 製本ボランティア舞鶴	5月～3月 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの病院	目的： 大切にしているおもちゃを復活させ、より大事にしたい気持ちに寄り添い、喜んでいただく。 内容： 自宅の壊れたおもちゃを預かり、おもちゃドクターに修理していただく。 協力： つるみおもちゃドクターズ	通年 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すえよし パソコン相談室	目的： パソコン操作の疑問を相談し、パソコン操作を楽しみ親しんでいただく。 内容： パソコン操作のわからない事を、親切丁寧に教えていただき、より快適便利に操作ができるようになる。 協力： 鶴見パソコンボランティア協会	通年毎月2回 全24回

◆サークル支援

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すえよし美術館	目的： 美術系サークルの作品を館内に常設展示し、活動への意欲を高め、会員数の増加、活性化に繋げる。 内容： サークル作品と展示場所を定期的に入れ替え、より多くの方に鑑賞していただく。 協力： 絵画・写真等の各サークル	通年 全4回

◆地域共催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
防災イベント	<p>目的： いざという時に慌てないために、防災に関する知識を確認、実践し、地域協力の大切さを考え、地域のコミュニケーション支援に繋げる。</p> <p>内容： 地域住民を対象に災害の恐ろしさ回避の仕方を教えていただく。</p> <p>協力： 末吉地区町内会他団体</p>	11月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ポッチャ体験	<p>目的： 競技を通じて楽しく体を動かすとともに、地域住民同士のコミュニケーション支援につなげる。</p> <p>内容： 各町会のポッチャチームにポッチャの楽しさと面白さを教わる。</p> <p>協力： 上末吉自治連合会</p>	12月 全1回

◆施設間合同事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜芸術アクション事業パートナー事業	<p>目的： 横浜市の芸術アクション事業と連携して、鶴見区の芸術文化発信と相互交流を図る。</p> <p>内容： 3年周期で継続的に開催されている横浜市の芸術アクション事業（下記）のパートナー事業</p> <p>令和4年度「音楽」 令和5年度「横浜トリエンナーレ」 令和6年度「ダンス」</p> <p>地区センター等で活動する団体が、サルビアホールまたは地区センターで合同発表会をする。</p> <p>共催： サルビアホール</p>	横浜市の 芸術アクション 事業開催時期 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
まだまだ知りたいわがまち鶴見 鶴見史跡巡り リレー講座	<p>目的： 鶴見区内を細かく散策し、まだ知らない鶴見を発見する。</p> <p>内容： ①施設間合同事業 ②各講義と散策のダブル講座 ③各地域の古老に地域の歴史を聴く ④ワックンカルタを元に散策、拠点は各施設</p> <p>【中央】鶴見神社田祭り【潮田】臨海工業地帯 【公園】潮田神社【寛政】鶴見と沖縄【生麦】生麦事件【寺尾】二つ池【上寺尾】寺尾城址【ログハウス】横溝屋敷【末吉】兜塚【新鶴見】夢見ヶ崎【矢向】日枝神社お神楽【市場】一里塚</p>	全12回 1回/施設

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会
施設名	横浜市末吉地区センター

令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

（単位：千円）

提案額 (a)	34,952	指定管理料提案額=小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	34,952	
差引 (a) - (b)	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 令和4年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
利用料金収入 [A]	1,932	
自主事業収入 [B]	984	
雑入 [C]	378	
小計 【ア】 ([A]~[C])	3,294	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	34,308	【ウ】 - 【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分） [E]	644	[A] × 1/3
小計 【イ】 ([D]~[E])	34,952	指定管理料の計
収入合計 (【ア】 + 【イ】)	38,246	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
人件費 [a]	21,927	
事務費 [b]	1,893	
自主事業費 [c]	1,280	
管理費 A（光熱水費等） [d]	4,230	
管理費 B（保守管理費等） [e]	4,713	
公租公課 [f]	1,713	
事務経費 [g]	1,846	
小計 【ウ】 ([a]~[g])	37,602	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	644	[E] と同額になります。
小計 【エ】 ([h])	644	ニーズ対応費の計
支出合計 (【ウ】 + 【エ】)	38,246	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会
施設名	横浜市末吉地区センター

令和 4 年度収支予算書

1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位: 千円)

項目	内容等	金額	
利用料金収入		ア	1,932
		イ	
		ウ	
		エ	
		オ	
		カ	
		キ	
		ク	
		ケ	
小計		[A]	1,932 ア～ケ
自主事業収入	自主事業計画書 (様式3) のとおり	コ	984
		サ	
		シ	
		ス	
		セ	
小計		[B]	984 コ～セ
雑入	印刷代 6千円/月	ソ	72
	自動販売機手数料 23千円/月	タ	276
	その他	チ	30
		ツ	
		テ	
		ト	
	小計		[C]

小計 【A】	施設運営収入計	3,294	[A]～[C]
--------	---------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税 (10%) 込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会
施設名	横浜市末吉地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

(単位：千円)

	項 目	内 容 等	金 額		
人件費	正規雇用職員		ア	7,156	
	臨時雇用職員	主任、スタッフ	イ	13,011	
	対象外の人件費		ウ	1,760	ウ-1～ウ-4
	社会保険料		ウ-1	1,100	
	通勤手当		ウ-2	500	
	健康診断費		ウ-3	40	
	勤労者福祉共済掛金	中退共掛金	ウ-4	120	
	小 計		[a]	21,927	ア～ウ
事務費	旅費		エ	10	
	消耗品費		オ	600	
	会議賄い費		カ	50	
	印刷製本費		キ	0	
	通信費		ク	200	
	使用料及び賃借料		ケ	291	ケ-1～ケ-2
	横浜市への支払い分	自販機目的外使用料1台分	ケ-1	41	
	その他		ケ-2	250	
	備品購入費		コ	100	
	図書購入費	ニーズ対応で支出	サ	0	
	施設賠償責任保険		シ	13	
	職員等研修費		ス	6	
	振込手数料		セ	8	
	リース料		ソ	235	
	手数料		タ	380	
	地域協力費		チ		
			ツ		
		テ			
小 計		[b]	1,893	エ～テ	
自主事業費		[c]	1,280		
管理費 A	電気料金		ト	2,000	
	ガス料金		ナ	1,800	
	上下水道料金		ニ	430	
	小 計		[d]	4,230	ト～ニ
管理費 B	清掃費		ヌ	1,820	
	修繕費		ネ	600	
	機械警備費		ノ	300	
	設備保全費		ハ	1,993	ハ-1～ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1	670	
	消防設備保守		ハ-2	120	
	電気設備保守		ハ-3	800	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4	60	
	駐車場設備保全費		ハ-5	0	
	その他保全費		ハ-6	343	
	共益費		ヒ		
		フ			
		ヘ			
小 計		[e]	4,713	ヌ～ヘ	
公租公課	事業所税	法人税等	ホ	8	
	消費税		マ	1,703	
	印紙税		ミ	2	
	その他 ()		ム		
	小 計		[f]	1,713	ホ～ム
事務経費	本部分		メ	1,846	
	当該施設分		モ		
	小 計		[g]	1,846	メ～モ
小 計 【ウ】	施設管理運営経費計		37,602	[a]～[g]	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。